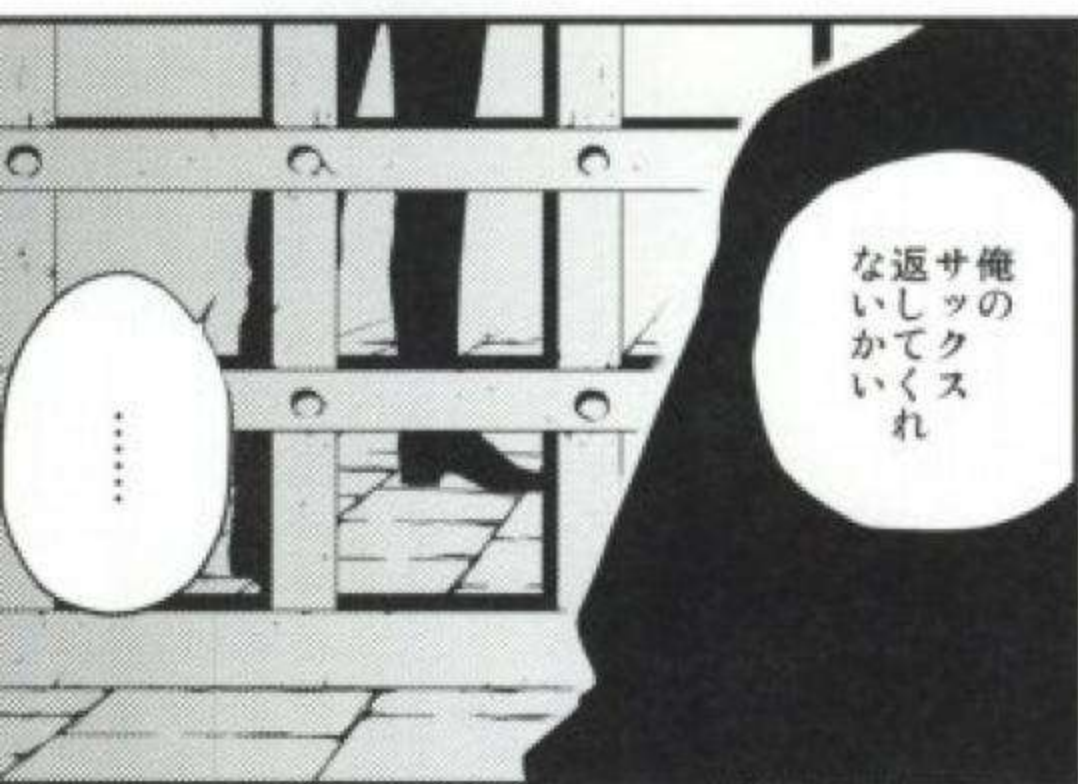
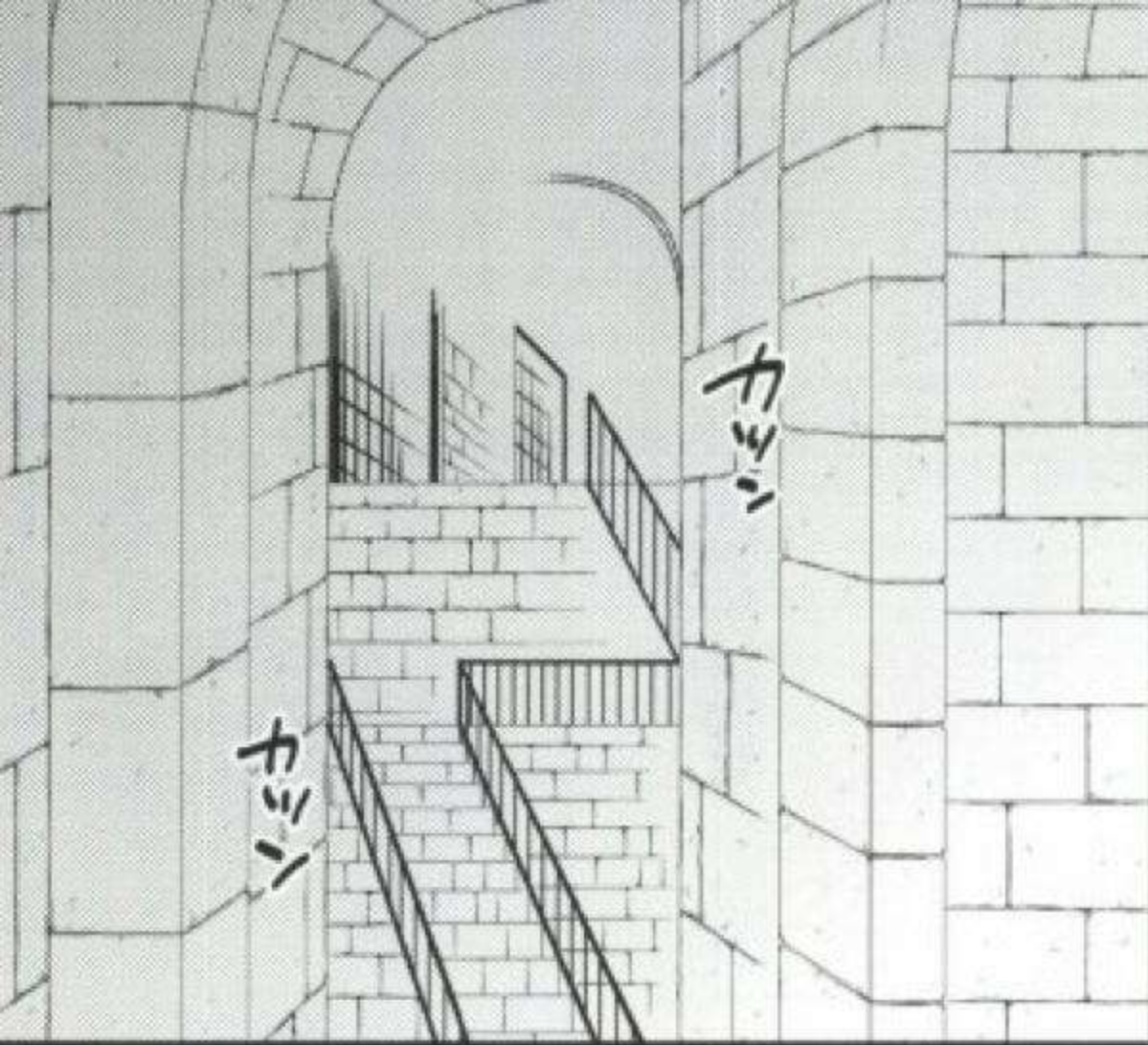




寝ても醒めても





死にたいのか？

この監獄で  
看守に向かって  
気安く声を  
掛けるな



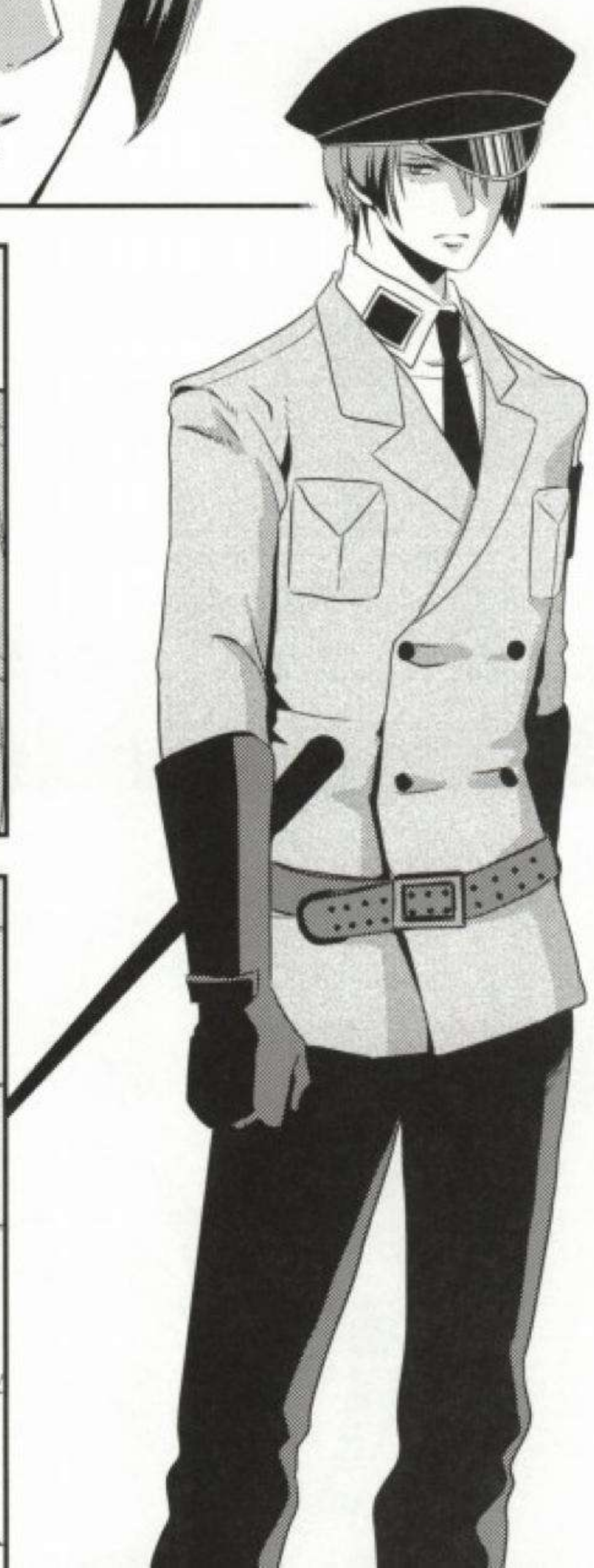
へえ…  
アンタ…

そんな声  
してるんだ



いいね

気に入ったよ





.....



なあ  
看守さん



ちようど  
退屈してた  
ところなんだ



遊んで  
みない？

俺と少し



ここは  
刺激がなく  
つまらない  
だろうか？

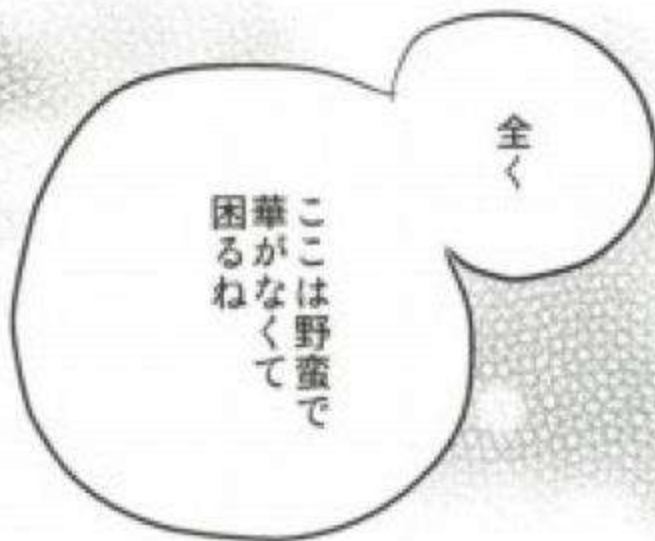
ふっ



ああ



あれは...?  
お前が?



ここは野蛮で  
華がなくて  
困るね

全く



暴力なんて  
趣味じゃ  
ないけど



くっ



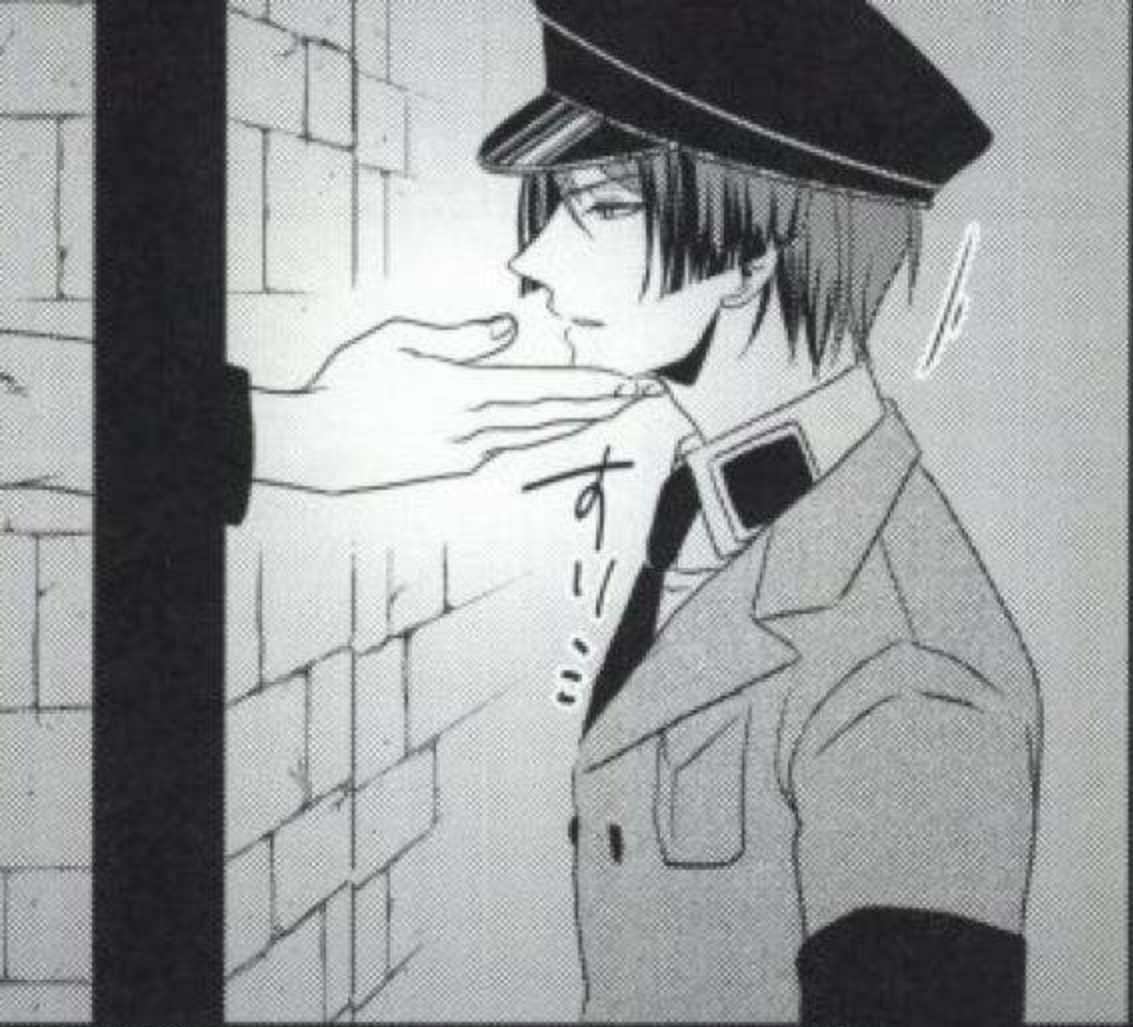
...貴様

名前は?



それはキミの  
お眼鏡に  
かなったって  
思ってもいい  
のかな?

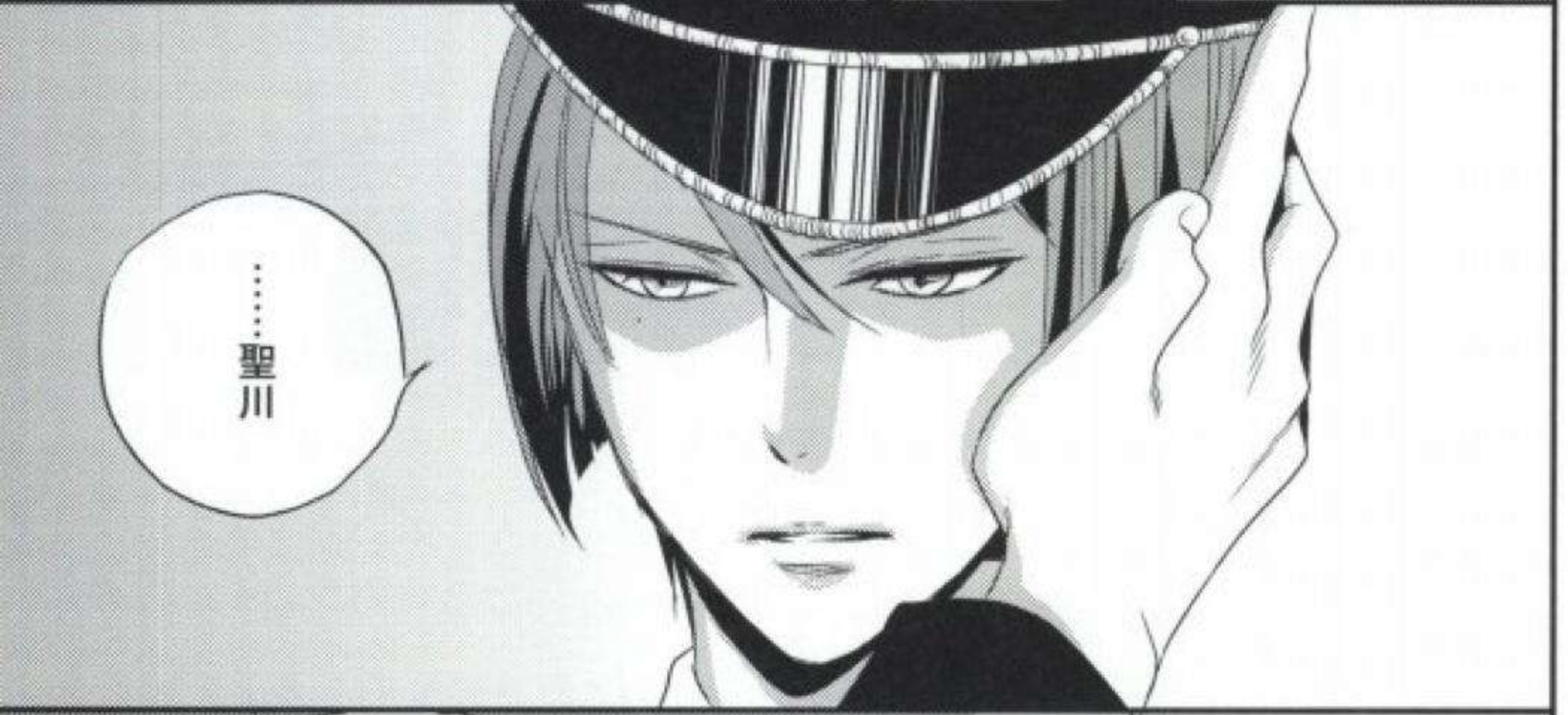
嬉しいね



じゃあ  
あなたの名前を

先に  
教えて  
くれないか？

すい



……  
聖川



初めてあなたを  
見た時から  
俺は……



下の名前は  
さすがに  
内緒？

でも  
いいのかい？  
そんな簡単に  
名前を囚人  
なんかには教えて

……  
聖川？



おまえに  
触りたいと

ずっと  
思ってたんだ

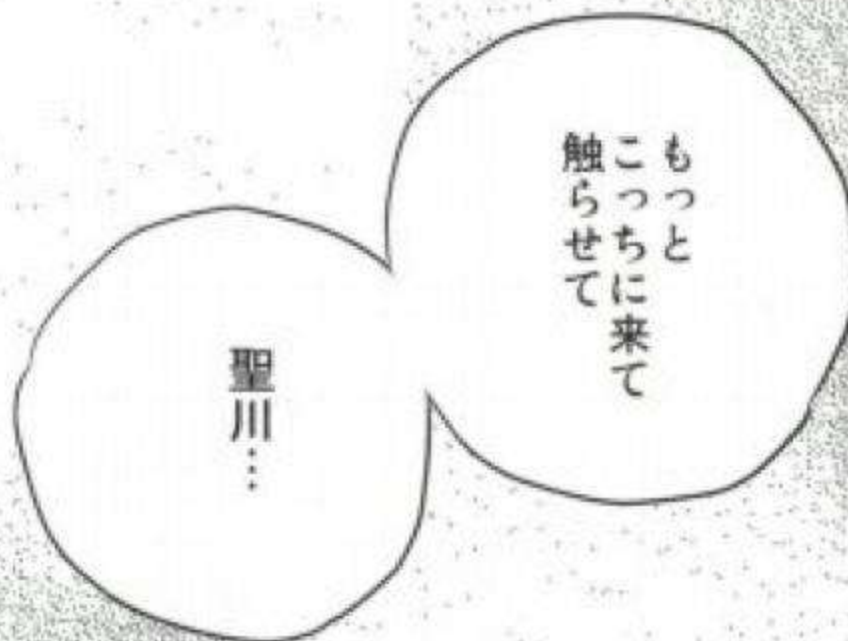


聖川

！

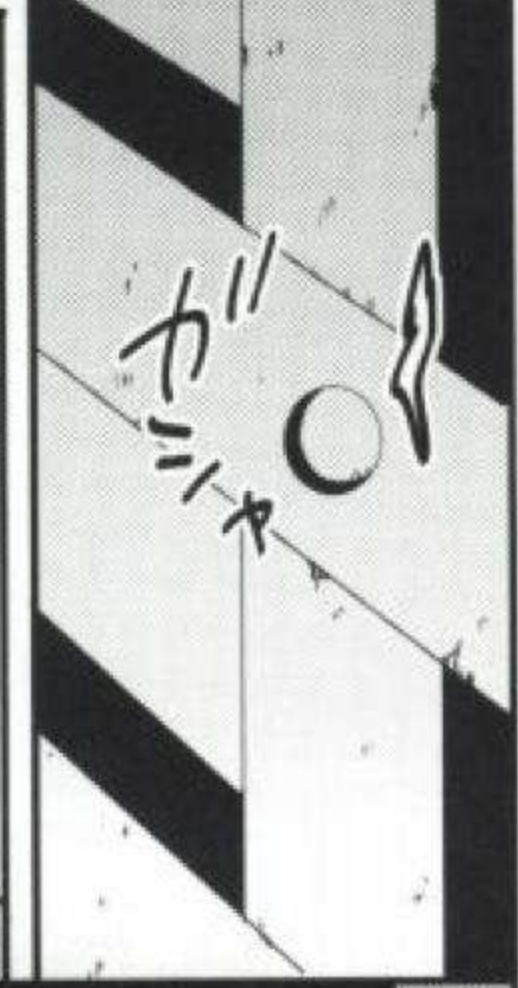


カレン



もっと  
こっちに来て  
触らせて

聖川…



こんなのじゃ全然足りない...

くそ...っ やばいな...

聖川...





もっと  
触りたい

聖川  
もっと

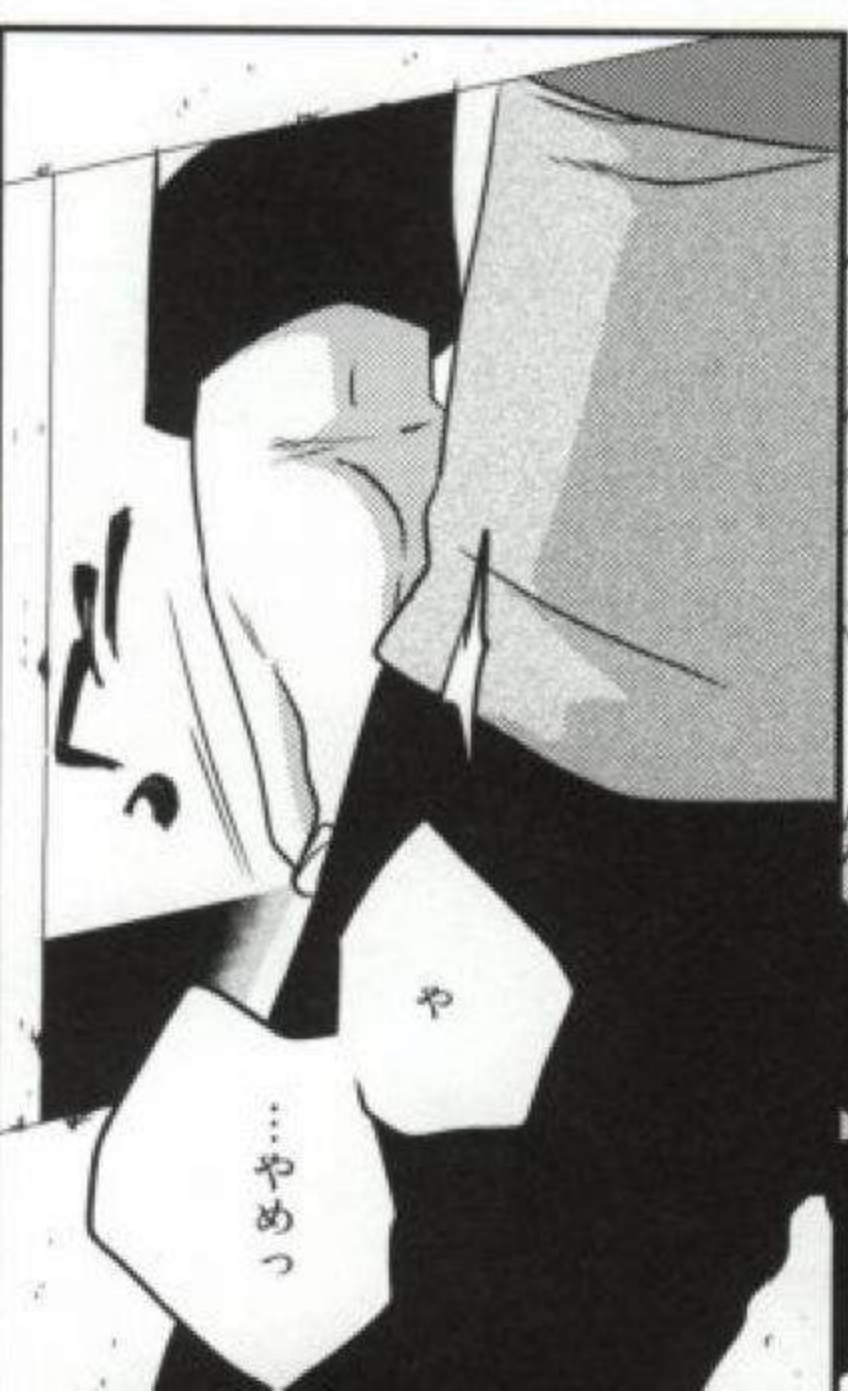


…ッあ!?

!!!



貴様…  
あまり調子に  
乗るんじゃ…



やめっ



ふ…



うあ



ほら  
勃  
っ  
て  
る  
よ  
う  
？

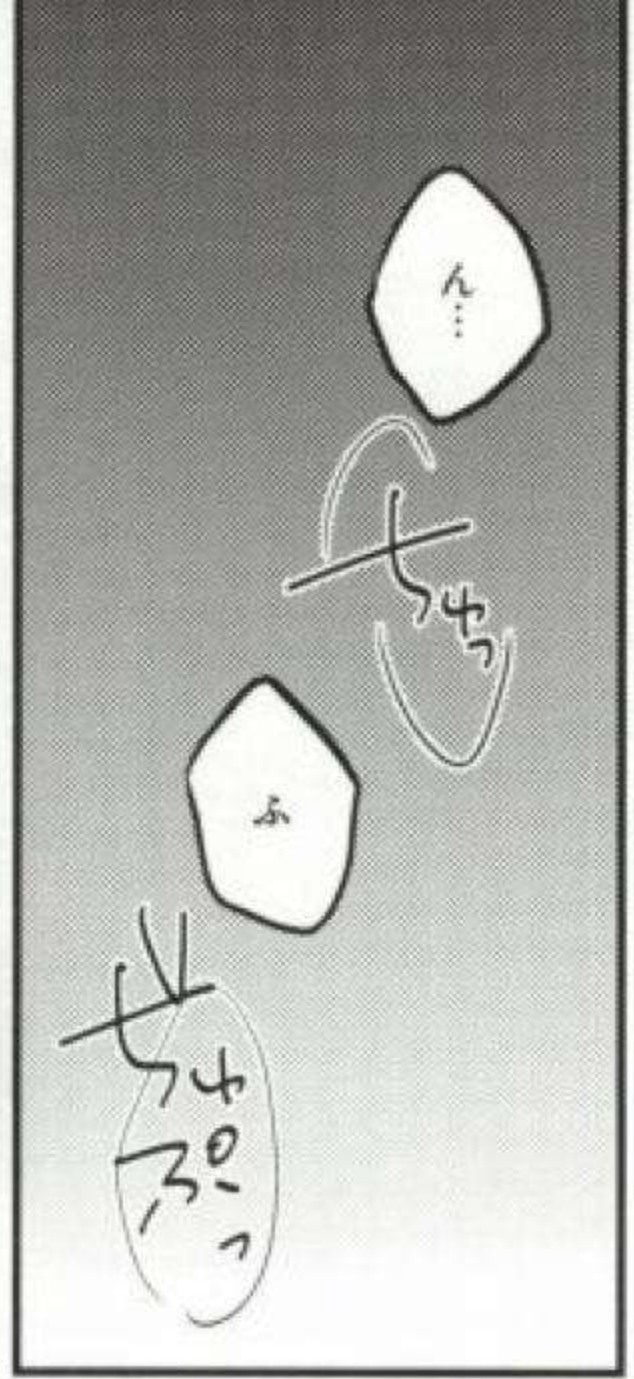






聖川…

















は…  
すごいな…

はっ



まるで  
喰われてる  
みたいだよ



ア  
ンタの

ア

ひア

ツ  
ア



イ…ク…ツ



ぶい  
ぶい

だ…

わかる  
だろ？



ほら

ひっ

ああッ



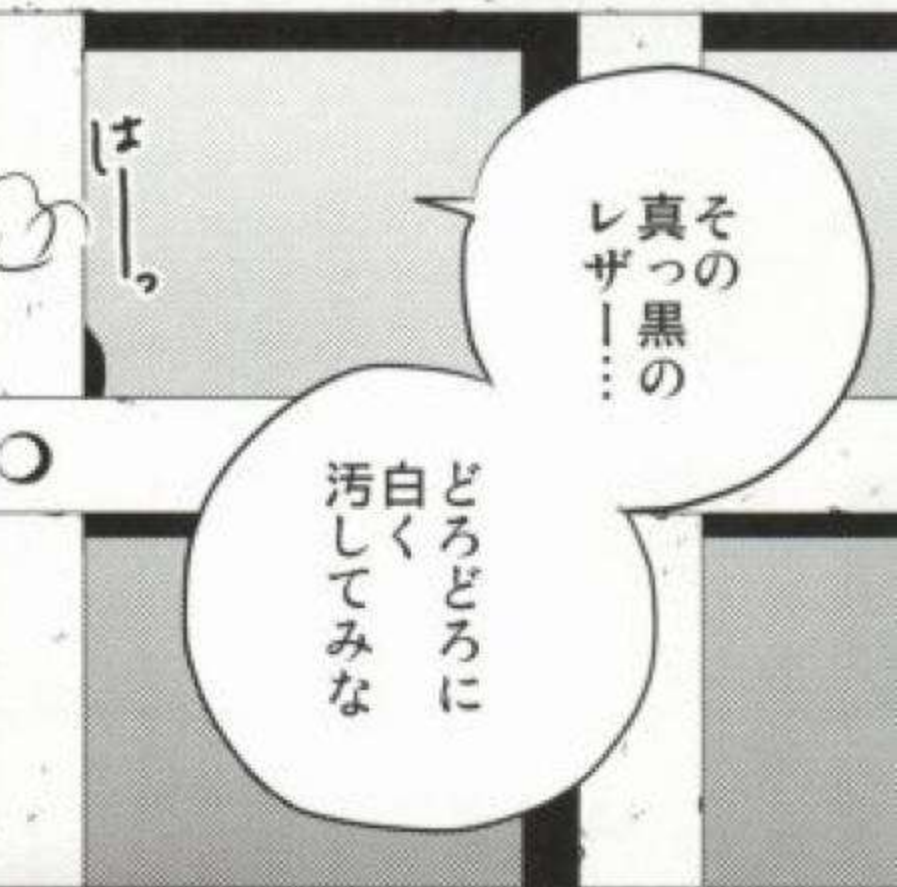
じゃあ  
自分でして  
みな？



あれ...？  
うしろだけじゃ  
イケない？



ほら



その  
真っ黒の  
レザー！...

どろどろに  
白く  
汚してみな

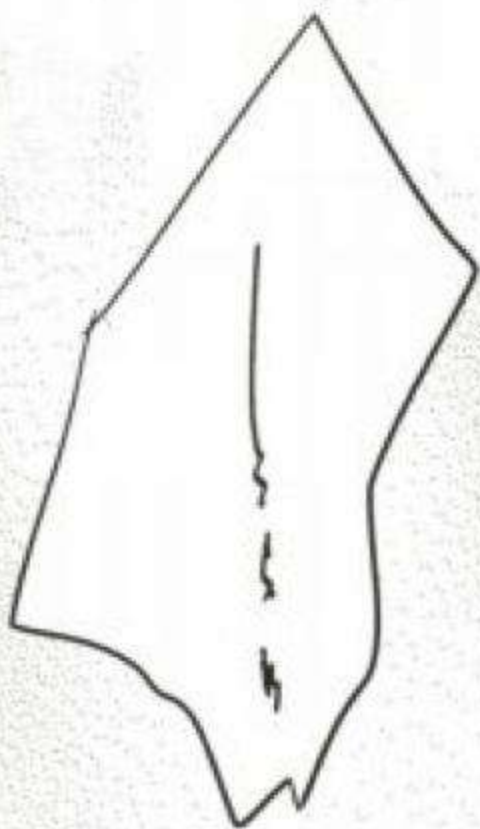


ああ、  
そうだ...







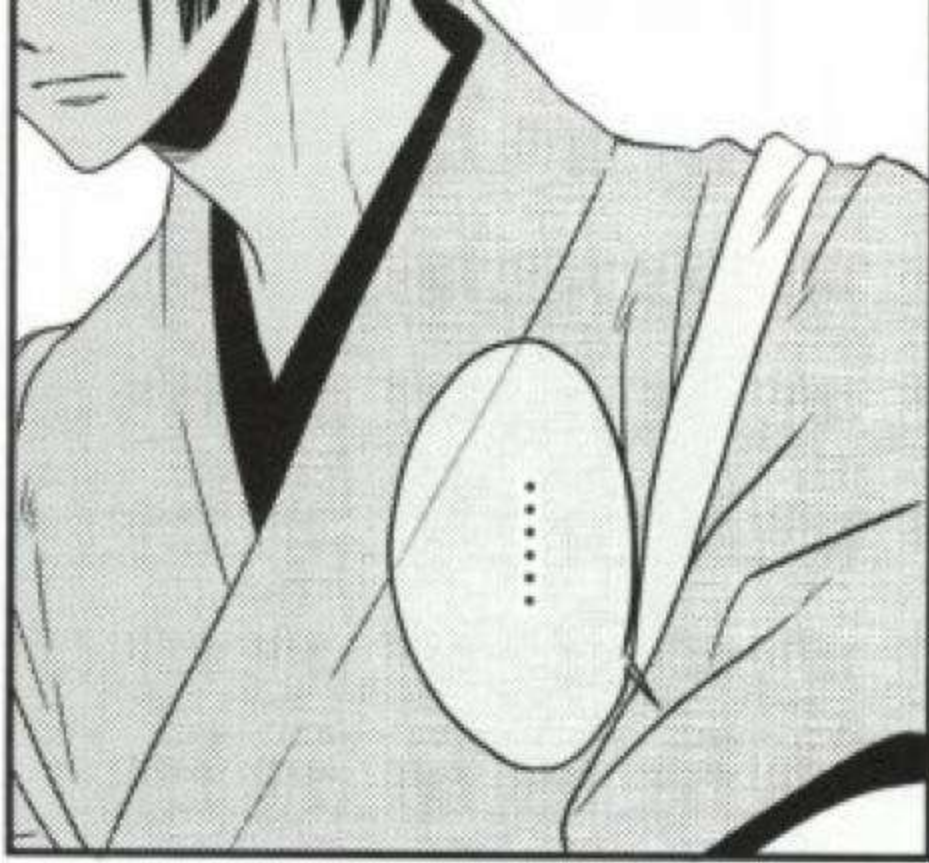


っ  
て  
い  
う  
夢  
を  
だ  
：




夢精でも  
してたら  
洒落に  
ならん  
だろ  
う？











夢の中の  
聖川は  
可愛かったぜ



気持ち良さそうに  
腰ゆすりながら  
おれのこと  
ギユウギユウ  
締めつけて



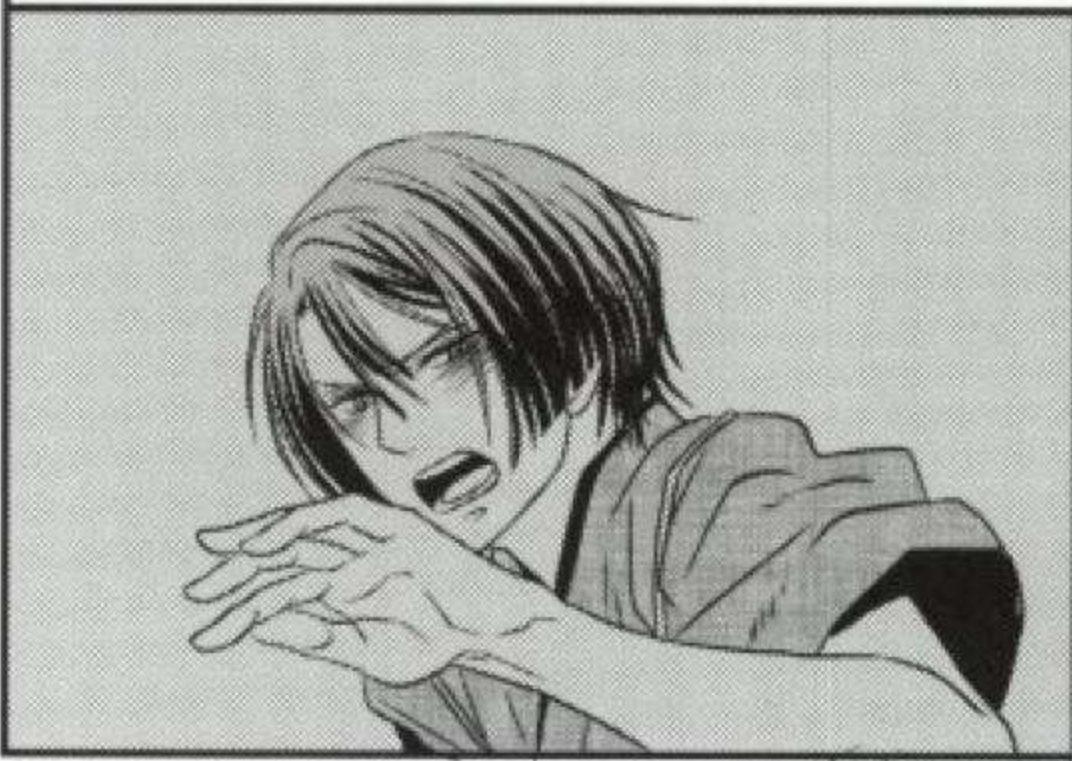
聞いたことも  
ないような  
エロい声で  
俺の名前…



黙れ







おまえは  
本当に…

可愛い男  
だよ

聖川…



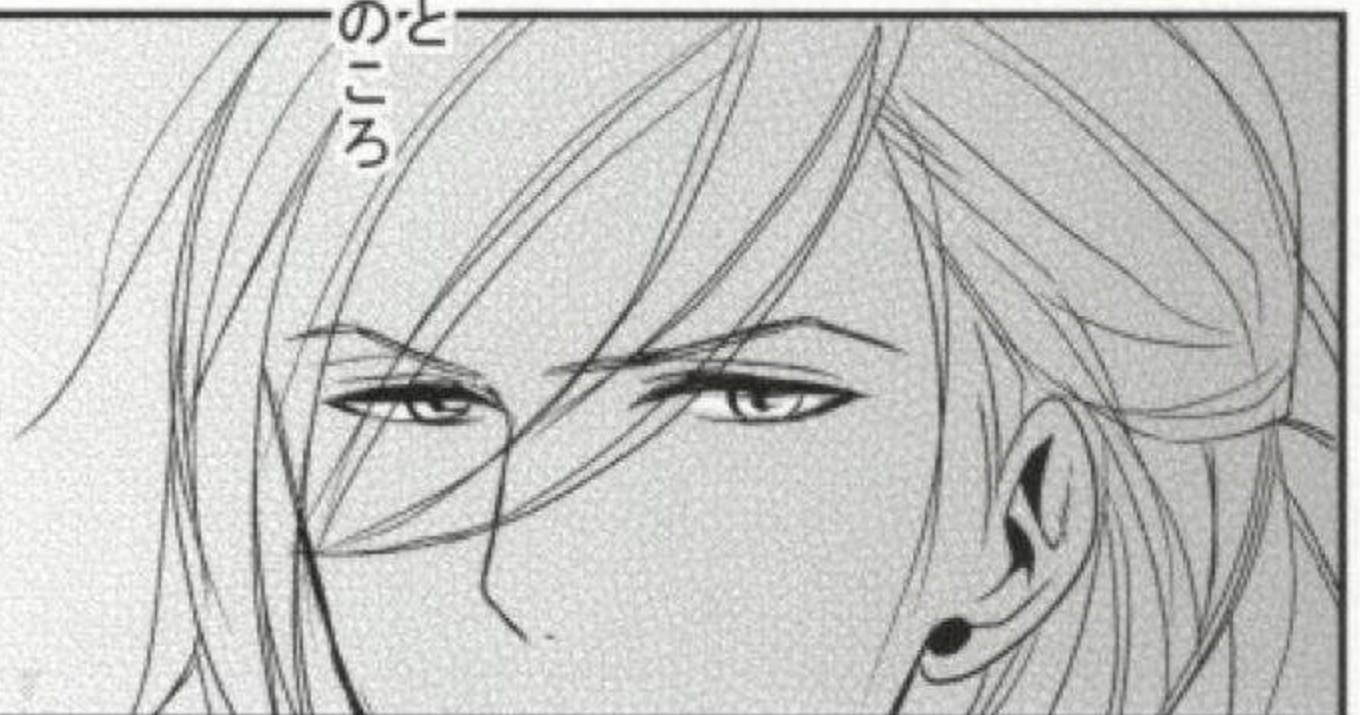
初めて見た時から  
目が離せなかつた



学園で再会して  
すぐに心臓を  
驚づかみに  
された


無邪気にお前と  
遊んでた子供のころ  
からずっと

俺の頭の中は  
おまえばかりだよ  
聖川

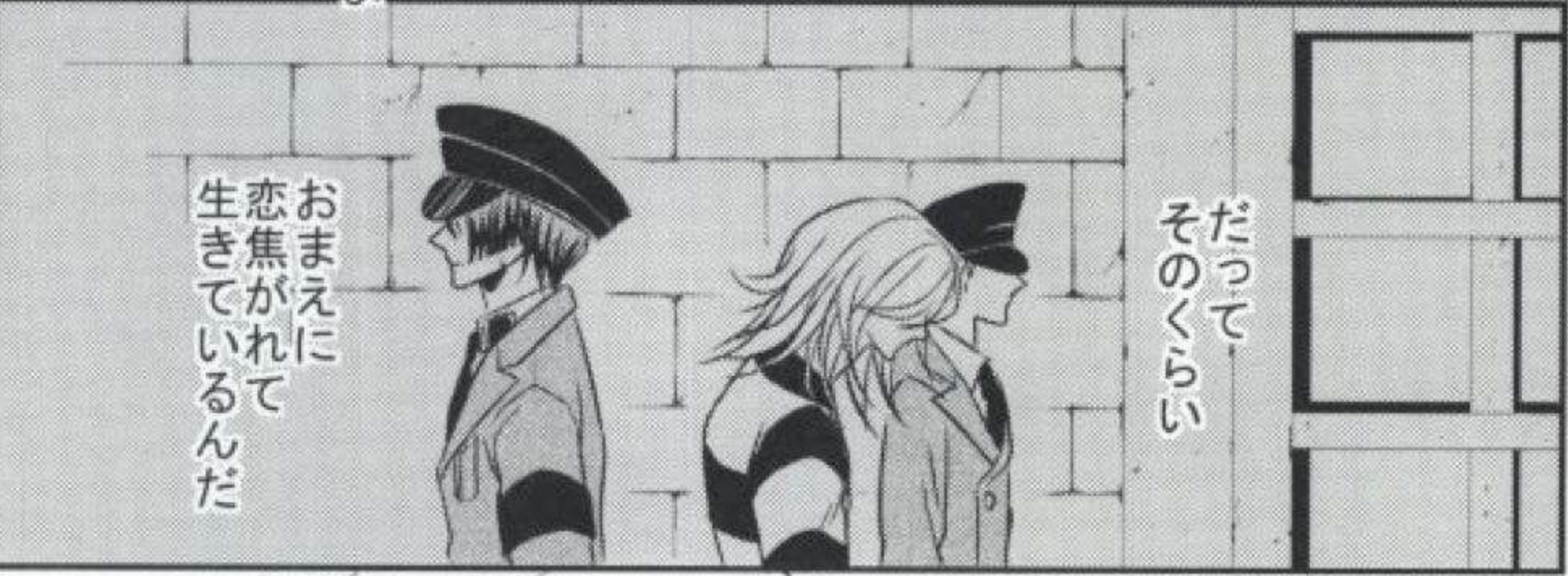




だから  
どんな出会い方でも



俺はおまえを  
すぐに見つけるだろうよ



だって  
そのくらい

おまえに  
恋焦がれて  
生きてるんだ



夢に見るほど

言葉どおりに



寝ても醒めても

おまえだけだ  
聖川

ネテモ坊メテモ